



一般財団法人 日本環境衛生センター

JESC-INFO

JESC-INFO(ジェスクインフォ)は、日本環境衛生センターの活動について、最新のトピックスやイベント情報等を随時紹介します

No.20210922

2021.9

ホットトピックス

■第65回生活と環境全国大会はオンデマンド配信で実施します



10月12日から13日の2日間、東京都の御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにて開催する予定でございました「第65回生活と環境全国大会」につきまして、新型コロナウイルス感染症が未だに収束していない状況に鑑み、開催方法を変更して実施することになりました。式典・授与式は中止し、講演や展示会、関連行事等については、当センターホームページの大会特設サイトにて、11月12日から12月24日の6週間、オンデマンド配信にて実施いたします。是非、以下サイトよりご登録の上、ご視聴ください。

【参加方法】

当センターホームページ（URL等）より参加登録ください。
講演等の視聴に必要な情報をメールにてご案内いたします。
<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>



■「革新的な省CO₂実現のための部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業」第1次公募結果について

当センターは、環境省が革新的な省CO₂実現に向けて実用化・製品化に向けて開発や実証をしてきた部材や素材（窒化ガリウム、セルロースナノファイバー）を活用した製品の製造に取り組む企業への支援として、「革新的な省CO₂実現のための部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業」に取り組んでいます。

第1次公募を6月4日(金)から7月2日(金)まで実施し、応募のあった事業について厳正に審査した結果、豊田合成株式会社(愛知県稲沢市)を補助事業者として採択しました。

採択された事業の内容は、自動車部品の工場間移動で使用する樹脂製容器にセルロースナノファイバーを用いることにより薄肉軽量化し、輸送時の二酸化炭素排出量を低減するというものです。

詳細は、以下のURL等からご確認ください。

【部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業】

<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/425/Default.aspx>



■隔月誌「生活と環境」9月号が発行されました

当センターが隔月で発行している「生活と環境」の9月号では、「環境行政半世紀の『これまで』と『これから』～環境庁発足50周年・環境省設立20周年～」と題した特集が組まれています。

本特集は、環境庁・環境省の『これまで』を振り返りながら、環境行政の『これから(未来の姿)』を模索する内容となっております。

詳細・購入は以下のURL等からご確認ください。

【隔月誌「生活と環境」2021年9月号】

<http://jescbook.shop-pro.jp/?pid=163160846>





ホットピックス

■ 第1回「脱炭素社会に向けたごみ処理座談会」を開催しました



第1回「脱炭素社会に向けたごみ処理座談会」の様子

当センターは、第1回「脱炭素社会に向けたごみ処理座談会」を8月17日に当センター東京事務所にて開催しました。

本座談会では、脱炭素社会に向けた廃棄物処理の在り方について有識者から意見を頂き、現状の課題を整理した上で、2050年に向けた今後の方向性について発信することを目的としています。具体的には、「ごみ処理施設（焼却施設）における今後の脱炭素化への取組み」や「プラスチックリサイクルの技術開発動向（動脈静脈連携、バイオプラ導入）」について、様々な立場の委員が意見交換を行いました。委員の詳細については以下の表をご確認ください。

なお、第2回「脱炭素社会に向けたごみ処理座談会」は、第65回生活と環境全国大会のオンデマンド配信（11月12日～12月24日）でご覧いただける予定です。

氏名（敬称略、五十音順）	所属
荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
井上 吉一	大栄環境株式会社 取締役副社長
荻原 正樹	ふじみ衛生組合 事務局長
高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科 教授
田中 朝都	一般社団法人 日本環境衛生施設工業会 技術委員長 (日立造船株式会社 環境事業本部環境技術推進部 部長)
新美 育文	明治大学（法学） 名誉教授
橋詰 博樹 (コーディネーター)	多摩大学グローバルスタディーズ学部 特任教授
吉岡 敏明	東北大学大学院環境科学研究科 教授

■ 「ADB Best TA Impact Award」を受賞

当センターの藤吉副理事長が参加した研究「中国におけるごみ焼却飛灰の持続可能な処理・資源化に関する研究」は、中国において、ごみ焼却飛灰汚染を規制する国家基準案の作成に貢献したとして、「ADB Best TA Impact Award」を受賞しました。

この賞は、ADB（Asian Development Bank：アジア開発銀行）が発注したTA（Technical Assistance：技術支援業務）のうち、大きな成果を上げたプロジェクトに授与されるものです。



ADB Best TA Impact Awardの賞状